

失敗しない水素 ビジネス

世界的エネルギーアナリストと考える
水素社会の可能性とリスク

2023年1月25日(水)
18:30~20:15

IGES
Institute for Global
Environmental Strategies



マイケル・リーブライク
リーブライクアソシエイツ
会長 兼 CEO

水素に関わる意思決定上での 必須知識獲得・動向把握の機会として

脱炭素社会実現のツールおよび将来の成長産業として、「水素」に期待が集まっています。政府や企業が巨額の投資を検討する一方、水素の効果的な用途、原料となる一次エネルギーの選択、そして社会全体での効率的なインフラのあり方などにはまだ不確実性（リスク）もあり、企業や政策担当者には、それらリスクの見極めと適切な意思決定が求められています。

こうした状況を踏まえ、IGESでは、Bloomberg New Energy Finance（ブルームバーグNEF）の創設者で、各国政府、国連、著名なエネルギー企業のアドバイザーなども務める世界的エネルギーアナリスト、マイケル・リーブライク氏をお迎えしたウェビナーを開催します。ウェビナーでは、水素と同様に期待が集まるアンモニア（特にエネルギー利用）についてもIGESの研究者がその可能性とリスクについて話題提供を行います。

本ウェビナーの見どころ

- 1 水素関連ビジネス/政策立案における意思決定の精度向上へ、経済合理性、エネルギー効率、物理特性からみた「水素特性・効果的用途」を分かりやすく解説
- 2 世界的に進む「再エネ革命」と水素の関係性について理解する視座を得られる
- 3 再エネ、アンモニア、合成燃料等、様々な脱炭素エネルギー特性を知る

基調講演者

マイケル・リーブライク | Liebreich Associates 会長兼 CEO



マッキンゼー社を経て、New Energy Finance（後のBloomberg New Energy Finance）を創設。2014年まで同社のCEOを務め、エネルギーや脱炭素技術に関する情報で世界をリードする独立系プロバイダーを率いた。その後はShellやEquinor等の大手エネルギー企業のアドバイザー、英国政府審議会委員、国際エネルギー機関（IEA）、World Economic Forum、WBCSD、Hydrogen Council（水素協議会）などの国際機関・ネットワークの委員などを歴任。国連総会やG7のエネルギー大臣会合などでも講演。また、ロンドン市交通局の取締役を務めたほか、脱炭素ソリューションに投資するベンチャーキャピタルを創設するなど、交通や投資分野にも精通。エネルギー工学、交通工学、経済学、投資などの専門知識を統合した分析は国際的に高く評価されている。ケンブリッジ大学経済学士、ハーバード大学MBA。

プログラム

- 18:30 開会
- 18:32-19:20 基調講演 「脱炭素社会における水素の役割と課題」（仮）
マイケル・リーブライク | リーブライクアソシエイツ 会長兼 CEO
- 19:20-19:40 話題提供 「日本の石炭アンモニア混焼政策」
滝澤 元 | 地球環境戦略研究機関 気候変動とエネルギー領域 研究員
- 19:40-20:10 質疑応答
モデレーター：田村 堅太郎 | 地球環境戦略研究機関
気候変動とエネルギー領域 ディレクター
- 20:15 閉会

*プログラム内容、登壇者は変更の可能性があります。予めご了承の程お願い致します。
*同時通訳をご利用の場合は、事前にZoomアプリをインストール下さい。

参加お申込はこちら



<https://japan-clp.seminarone.com/20230125/event>

お問合せ：JCLP事務局
info-jclp@iges.or.jp